す　ず　ら　ん

たのもしく　ただしく　たくましく

天理市立福住小学校

第3号令和２年6月15日

文責　神元　聡

小中一貫校開校へ向けて

気象庁によると近畿地方は10日から梅雨入りとのことです。これは、昨年よりも少し早いですが、例年並みだそうです。そんな中、本日より通常授業開始となりました。

さて、令和３年度より、小中が一つの校舎で９年間の連続した学び（目指す子ども像：①「世界に目を向ける」②「自立」③「共生」）を行う福住小中学校が開校されます。その改装工事のため、7/21～8/31の間は、小学校は閉鎖になります。夏休みの授業日（8/17～8/31の午前）及び、個人懇談（8/18～8/20の午後）については、福住中学校と公民館をお借りして行う予定です。詳細については、学年通信などでお知らせします。なお、天理市内の小学校は、9/19(土)9/26(土)11/7(土)11/28(土)が、半日授業の実施日となっています。しかし、福小は、６月第１週と２週を分散登校していないため、他校より５日分（４h×５日）授業日が多くなっています。そのため上記４日間は、休日とします。

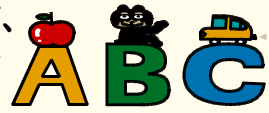
世界に目を向ける

先に記したとおり、来年度からの小中一貫校における目指す子ども像の一つに「世界に目を向ける」があります。具体的には、「外国語やICT等をツールとして使いこなし、世界の人と繋がろうとする子どもを育てる」ということです。これからの世の中は、ボーダレス化が急速に進み、世界の人たちとコミュニケーションをとることは、当たり前の日常になることは、言をまちません。そのためのﾂｰﾙとして、外国語教育は益々重要になってきます。外国語を習得するための手法として「イマージョン教育」があります。イマージョンとは「浸す」という意味です。いわゆる英語漬けにするということです。現在、ラヴィ先生がALTとして週３回来られていますが、朝の時間やイングリッシュ・アワー以外でも、一緒に業間休みに遊んだり、掃除したりすることで、子どもたちは、自然と英語に浸かっています。また、本年度からは、３・４年生の図工の時間は、英語を使って行っています。（もちろん、指導要領の内容を習得することが、最優先ですので日本語を使って理解を定着させることは、当然行います。）今後、いわゆる感性が重視される芸能教科において、図工に限らず、書写、家庭、音楽などでも順次英語（外国語）に浸していこうと考えています。皆様のご理解とご協力よろしくお願いします。

英語ルームができました！

ホームページでも、お知らせしたとおり、昨年までの会議室を英語ルームに変更しました。福小の英語の授業は、基本的にこの部屋で行います。

この部屋には、電子黒板が設置してあり、たくさんの絵本、CDやDVD、ｲﾝﾀｰﾈｯﾄなどが、すぐに視聴できる環境が整っています。子どもたちが、この部屋で、楽しく英語に触れて、英語に浸かり、心から英語が好きになってくれることを、職員一同願っています。



お知らせ

福住小学校のホームページでは、行事予定表・学習支援動画ほか、子どもたちの活動の様子などを、日々更新しています。ぜひ、ご覧ください。